

グリーンイノベーション基金事業
「次世代船舶の開発」プロジェクトに関する
研究開発・社会実装計画（改定案）に対する意見公募手続の結果について

令和5年9月20日
国土交通省
海事局
海洋・環境政策課

「グリーンイノベーション基金事業「次世代船舶の開発」プロジェクトに関する研究開発・社会実装計画（改定案）」について、令和5年8月18日から同年9月19日まで意見公募手続を実施いたしました。

結果については以下のとおりです。なお、行政手続法第四十三条2項に基づき、提出意見は整理又は要約しております。

1. 意見公募の実施方法

- 意見募集期間：令和5年8月18日（金）～令和5年9月19日（火）
- 実施方法：電子政府の総合窓口（e-Gov）における掲載
- 意見提出方法：e-Gov

2. 提出意見数

2件

3. 提出されたご意見の概要及びそれに対する考え方

別紙のとおり。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご意見の概要及びご意見に対する考え方

整理番号	ご意見の概要	国土交通省の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ・「漏洩」は「漏えい」とすべきではないか。 ・「等」と「など」で表記が揺れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「漏えい」に統一いたします。 ・「等」と「など」については、当該文脈における読みやすさ等を考慮し、選択しているものです。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・非化石燃料の使用によるゼロエミッション化はまず発電分野において図られるべきであり、船舶は、これにより余った天然ガスを用いることとすればよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際海運からのCO2排出量は先進国1か国分程度に相当するなど、船舶におけるカーボンニュートラルの実現も重要な分野です。足元では船舶の燃料の天然ガスへの転換も進んでおり、天然ガスはゼロエミッション燃料ではありませんが、そのような船舶は将来的にはグリーンメタンの供給によりゼロエミッション化の可能性もあることから重要な取り組みとして期待されています。 ・一方で、船舶の種類や用途によって、最適なゼロエミッション燃料は異なることも想定されることから、我が国の国際競争力を強化する観点からも、現在想定される水素やアンモニアなどの船舶のゼロエミッション燃料の使用に必要な技術開発を推進することも重要です。